

# 紅花生産振興への後押しを

6月17日に委員会が開催され、中山間地農業ルネッサンス推進事業について説明を受けた。

## 【事業目的】

中山間地の持つ、豊かな自然等を活かし、「日本の紅（あか）をつくる町」推進事業において、更なる紅花生産・観光振興、誘客拡大を目指し行うもの。

## 質疑

### 各課の連携は

**委員** 栽培面積の推移は、担当の商工観光課と農林課との連携はどうなっているか。

## 【事業内容】

- ① 紅花活用・受注拡大事業（紅花販路拡大、ポスター・チラシ制作PR等）
- ② 藍と紅のプロモーション事業（紅花畑栽培支援、プロモーション活動等）

そのほかに、紅花振興のための事業として、農山漁村振興事業（事業費300万円）を活用して、堆肥支援事業等を実施する。

### 栽培面積拡大の方策は

**委員** 栽培面積の拡大に向け、大規模農業生産法人等との連携の可

## 性能は。

**当局** 水田と畑での栽培の違いをよく考えて取組む必要がある。なかなか思うように進まない状況があるが、一歩一歩前進するようがんばっていく。



白鷹の夏を彩る紅の花

**収益向上の対策を**

# 新たなマスタープランの策定へ

都市計画マスタープランの策定及び都市計画道路の変更について説明を受けた。

## ◆都市計画マスタープランの策定

### 【経過】

社会情勢の変化、都市計画の進捗状況を踏まえ見直しが必要となったため、平成29年度より改定に向けた取り組みを進めてきた。

## 【今年度の取組】

地域別構想や実現化方策の素案検討等、年度末に新たなマスタープランを策定する。

## ◆都市計画道路の変更（山形県決定）

### 【見直し検討状況】

菖蒲思川線及び荒砥十王線が見直し対象に該当。

## 【一般国道287号菖蒲工区道路整備事業の状況について】

平成31年3月に策定された「山形県道路中

期計画2028」において交通安全対策等の機能強化すべき箇所として掲載され、計画前期（2019～2023）に事業着手予定とされた。

## 質疑

### 荒砥駅西の将来像は

**委員** かつて都市計画にあがっていた荒砥駅西側は、現在、10世帯ほどあるが、荒砥橋に上がる道も一本しかない。現状を踏まえた見解は。

**当局** 土地利用は、これから考えていきたい。公共投資をした場合、町全体にどのような影響があるか、検討が必要である。今後、地域の方が何を望ん



荒砥駅西側

**町民への丁寧な説明を**

その他  
○一般財団法人白鷹町アルカディア財団の経営状況  
○令和元年度イノシン捕獲及び被害状況  
について説明があった。